

(別紙様式1)

あいさつ運動の好事例

玉野市立山田小学校

(児童数105名 教職員数16名)

ハイタッチではじまる一日

～ 学校・家庭・地域の連携の取組 ～

アピールポイント

月に一度、3年生以上の児童を中心にたてわり班で校門に立ち、あいさつ運動をしています。オリジナルの赤いたすきをかけ、笑顔で一人一人とハイタッチをしていきます。時には、保護者やボランティアの方も一緒に校門に立ち、あいさつ運動を盛り上げてくれています。

また、毎月のあいさつカードを使った取組や、あいさつ標語・ポスター募集も行いました。あいさつ標語では、優秀作品の表彰をしました。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

明るく、進んであいさつをする児童が多いが、恥ずかしがって声が小さくなる児童もいる。

■活動内容

- ・たてわり班による校門でのあいさつ運動（毎月実施）
- ・様々なテーマでのあいさつカード（毎月実施）
- ・あいさつ標語募集（9月）
- ・あいさつに関するポスター募集（10月）

■取組の参加メンバー

教職員、児童、保護者、地域ボランティアが参加。

■成果・効果

- ・児童一人一人が、恥ずかしがらずにハイタッチをしてあいさつができるようになった。
- ・遠くにいる人に届くよう、大きな声であいさつをする児童が増えた。
- ・校内で会ったお客さんに自分から進んであいさつをし、さらに会釈ができるようになった。
- ・地域の方々からも、児童が校外でもよくあいさつをしていると聞いている。
- ・あいさつ標語募集では、保護者が児童とともに標語を考えられるようにし、アイデアあふれる作品が集まった。